

第 63 回 緑化推進運営協議会

議 案 書

と き 令和 6 (2024) 年 2 月 28 日 (水)

オンライン開催



公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会

目 次

1. 報告案件

- | | |
|------------------------------|-----|
| ① 令和 5(2023)年度「緑の募金」事業概要について | P 1 |
| ② 令和 5(2023)年度「緑の募金」収支決算見込み | P12 |

2. 第 1 号議案

- | | |
|-------------------------------|-----|
| 令和 6(2024)年度「緑の募金」事業計画（案）について | P13 |
|-------------------------------|-----|

3. 第 2 号議案

- | | |
|-----------------------------|-----|
| 令和 6(2024)年度「緑の募金」収支予算案について | P19 |
|-----------------------------|-----|

巻末資料

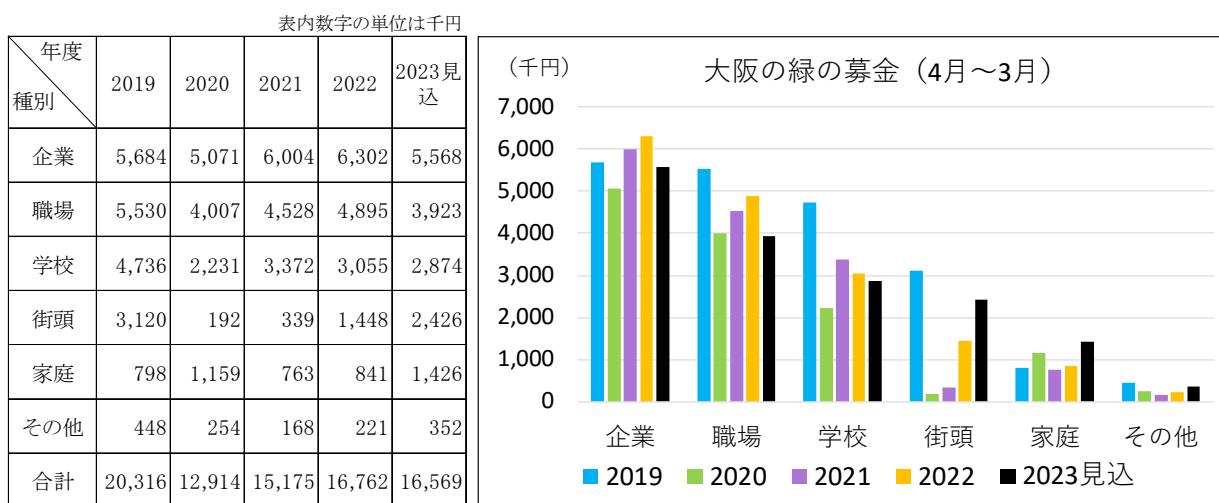
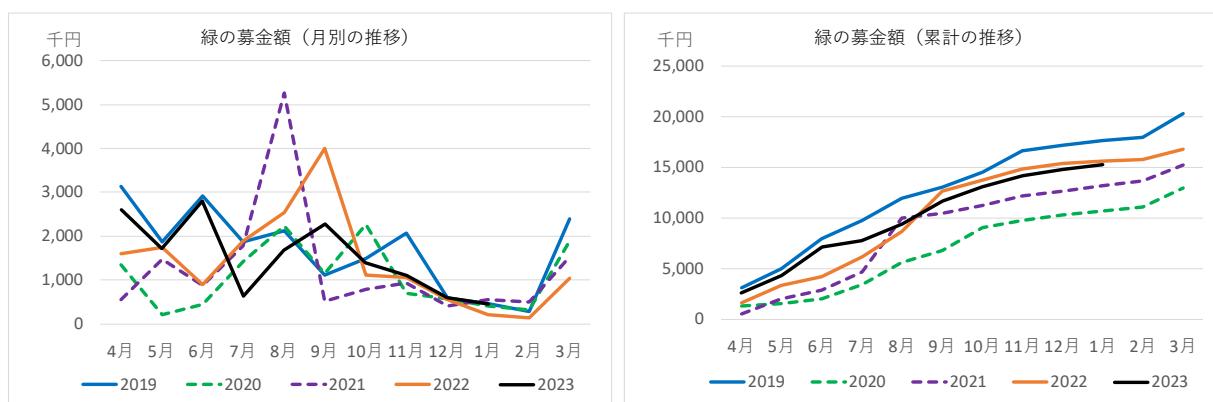
- ・貸借対照表（2023 年 3 月 31 日現在）
- ・正味財産増減計算書内訳表（2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで）
- ・災害復旧支援に関する資料 ① ②

令和5(2023) 年度「緑の募金」事業概要

緑の募金収入の状況

2020年以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、職場募金、学校募金、街頭募金等の募金活動が縮小したが、2023年はコロナによる影響は比較的小さくなり、募金活動の制限も小さくなってきた。しかし、12月までの実績から見込まれる年間募金総額は、前年比98%にとどまっている。

種別に見ると、企業募金は有料レジ袋の収益金の一部からなる寄付の減少（原料・加工費の高騰による）を反映して減少した。職場募金は近年回復傾向を示していたが今年度は減少した。ただし、職場募金の内訳を精査した結果、一部を家庭募金に種別変更した影響も含まれている。学校募金は減少傾向が続いている。街頭募金はコロナ前の2019年と比べて78%まで回復した。家庭募金は増加を示しているが、職場募金からの種別変更による。



1. 緑の募金推進事業(予算 2,859 千円)

(1) 募金活動推進(予算 2,853 千円)

【計画】

2023 年度の募金目標額を 17,200 千円*とし、以下の団体へ協力依頼し、街頭募金、学校募金、家庭募金、職場募金、企業募金等の募金を呼びかける。

種別	協力団体
街頭募金	日本ボーイスカウト大阪連盟、(一社)ガールスカウト大阪府連盟、大阪府緑の少年団連盟
学校募金	各市町村教育委員会、大阪私立中学校高等学校連合会 他
家庭募金	大阪府内 43 市町村
職場募金 企業募金等	大阪府、大阪府警察本部、近畿中国森林管理局、大阪商工会議所、大阪府木材連合会、大阪商工信用金庫、大阪府生活協同組合連合会、大阪いずみ市民生活協同組合、ダイドードリンコ(株) 他

* 募金目標額 17,200 千円は、職場募金・街頭募金・家庭募金で増加を見込む一方で、企業募金及び学校募金における減額を見込んで設定した。企業募金は、環境貢献取り組みを背景とした募金が見込まれるもの、有料レジ袋の収益金の一部からなる寄付の減少（原料・加工費の高騰による）を反映して減額を見込んだ

募金キャンペーン期間を設け、各団体による街頭募金を集中的に実施するとともに、府内各地で行われる各市町村や各種団体等の緑化関連イベント等で緑の募金活動を強化し、周知を図る。

<キャンペーン期間>　・春季 2023 年 3 月 1 日～5 月 31 日
　　・秋季 2023 年 9 月 1 日～10 月 31 日

学校募金は、市町村教育委員会の取りまとめ（募金呼びかけ、資材聞き取り・配布、交付金申請・交付・報告に関する連絡調整等）の協力を得ており、1 校（園）あたり 400（円/年）の手数料を支出している。しかし、コロナ禍による学校募金の中止を経て、取りまとめに協力いただいた教育委員会の数は、コロナ前の 2019 年は 24 であったが今年度は 17 に減少し、今後も減少する傾向にあると見込まれる。

この傾向が続いた場合、各学校と協会事務局との個別対応が増えることによる事務作業量の増加や、学校募金額の減少が懸念されるため、教育委員会に向けて取りまとめ協力の継続をお願いする。

<募金資材の整備>

緑の募金運動および普及啓発の円滑な推進を図るため、2023 年秋用および 2024 年春用の募金資材を整備し、活用する。2022 年度春から、牛乳パックや段ボール箱を活用した募金箱作成のための用紙を作成しており、既成品募金箱に代わるものとして引き続き活用を呼びかける。

募金資材の種類	概要	備考
緑の羽根	緑の募金運動のシンボルである緑の羽根を準備し、募金者に配布する	国土緑化推進機構より購入
緑化バッジ	大阪府立港南造形高等学校の協力を得て、植物の葉や花をモチーフとした緑化バッジを、春と秋のキャンペーンに合わせて作成し、募金者に配布する	当協会オリジナル
P R チラシ	以下の目的に応じたチラシを作成し配布する ○緑の募金の普及啓発 ○物品寄付の周知 ○遺贈による寄付の周知	当協会オリジナル
ポスター	募金実施団体の希望により配布するとともに、公共施設や道の駅等に依頼し、掲出する	国土緑化推進機構より購入
募金箱	募金形態にあわせて使用できるよう、紙製、間伐材製、街頭募金向けストラップ付の3種類を整備する。	国土緑化推進機構より購入
募金箱作成用紙	牛乳パックや段ボール箱に貼り付け、手作りしてもらう募金箱の用紙	当協会オリジナル

【実績】

街頭募金、学校募金、家庭募金、職場募金、企業募金等の募金を呼びかけた。

＜キャンペーン期間＞

・春季 2023年3月1日～5月31日 ・秋季 2023年9月1日～10月31日



大阪府庁舎本館



大阪府庁舎別館



ATC

緑の募金運動および普及啓発の円滑な推進を図るため、2023年秋用および2024年春用の募金資材を整備した。（緑の羽根、緑化バッジ、P R チラシ、ポスター、募金箱）

緑化バッジは、大阪府立港南造形高等学校の協力を得てデザインされ、選考会を経て、最優秀

賞の生徒デザイン画を採用した。



2023年秋用
ヒイラギ



2024年春用
カタクリ

市町村教育委員会の取りまとめについては、1市において協力内容の変更があった。

高騰する資材購入費を抑えるため、募金箱の短期使用に関しては、既製品の紙製募金箱の提供に代わって、牛乳パックや段ボール箱を活用した募金箱作成のための用紙の利用を勧めた。

(2) 募金拡大(予算 6 千円)

【計画】

近年、企業からの問い合わせや寄付企画の申し込みが増えつつあり、各企業のニーズに合わせた積極的な対応を行い、協力企業の拡大に努める。

また、現在、家庭募金は募金総額の約 5% にとどまっているため、家庭募金を行っている市や、他府県の事例を参考にして取り組み方法を検討し、大阪府の協力も得ながら市町村への協力依頼を進める。

WEB から募金ができる「つながる募金」や家庭に眠る物品の寄付(お宝エイド)物品寄付や遺贈による寄付等、募金方法の多様化に向けた仕組みづくりに取り組み、ホームページやイベント等で周知し、普及啓発を図る。状況に応じてキャッシュレス募金に取り組む。

【実績】

燃料供給や車の販売・整備などの事業を行っているエヌクスフリート株式会社(大阪市淀川区)より、軽油販売に伴うポイントからの寄付が今年度から始まった。

廃食用油回収 リサイクル及び販売などの事業を行っている植田油脂株式会社(大東市)より、リサイクルせっけんの購入に伴う寄付が 2020 年より継続している。

大丸心斎橋店(大阪市中央区)より環境関連取組の一環として 緑の募金チャリティー企画が 2022 年より継続し、今年度は 5 月と 10 月に開催された。10 月は緑の募金のパネル展示も開設した。

キャッシュレス募金については、(公社)国土緑化推進機構が全国の緑の募金団体とともに PayPay 及び auPay を利用した募金の開始に向けた取り組みを行っていたが、金融庁への手続きが進まないことが同機構より報告され、全国的に滞っている。当面の開始は難しい状況である。

家庭募金については、大阪府内で実施している市の担当部署への実施方法・状況の聞き取りを行い、未実施の市の担当部署への提案と情報提供を行った。

募金方法の多様化を進めるため、WEB から募金ができる「つながる募金」※1 や家庭に眠る物品の寄付「お宝エイド」※2、2020 年より開始した遺贈募金 (JELF「みどりの遺言」プロジェクト) を継続している。

音楽集団 ANKAA のコンサート会場における募金が 2020 年から継続しており、今年度は 8 月、10 月、1 月に行われ、募金の呼びかけを行った。1 月は会場において緑の募金の紹介パネルを展示了した。

※1 つながる募金：ソフトバンク契約者が携帯料金支払い時に募金もできる仕組みで、ソフト

バンク契約者以外もインターネットから募金できる。

※2 お宝エイド：不用品を回収業者へ送ってもらい、買い取られた金額の一部が募金となる仕組み。

伊藤忠エネクスグループ
エネフリ

お客様参加型の社会貢献活動を実施

車検および自動車の販売件数に応じた金額を寄付するチャリティープログラム「エネフリHeartful」を2022年から実施しています。また、トラック祭[※]のポイントを公益財団法人大阪みどりのトラスト協会を通じて「緑の募金」、公益財団法人 交通遺児等育成基金への寄付として使えるプログラムを実施しています。ご賛同いただいた運送会社さまやトラックドライバーさまからご提供いただいたポイントシールを換算し、そこにエネフリからの寄付金を上乗せし寄付します。

トラック祭第7弾（2020年6月1日から2021年5月31日まで実施）において、活動の趣旨にご賛同いただいた運送会社およびトラックドライバーさまから寄せられたポイントシール数に応じた金額を寄付しました。

エネフリでは子どもたちの持つ可能性が閉ざされてしまわないように、さまざまな取り組みを続けていきます。

※ 軽油給油25リットルにつきポイント（シール）をお渡しするキャンペーン。貯まったポイントに応じて賞品に交換していただけます。
https://www.enexfleet.com/gasoline/business/truck_matsuri/index.html

あなたの1台が
子どもと家族の未来を支援する。

エネクスフリート
チャリティープロジェクト
エネフリ
ハートフル
Heartful



あなたの
ポイント
で
社会貢献しませんか？

10th
サンキュー

公益財団法人
交通遺児等
育成基金

緑の募金

ご賛同いただける方はここにポイントシールをお貼りください

トラック祭ポイント
1 ポイント = 5 円
交通遺児等育成基金または緑の募金に寄付できます。

専用シール発行



大丸心斎橋店でのパネル展



コンサート会場でのパネル展

2. 緑化推進・森林の整備事業(予算 6,381 千円)

(1) 緑化事業等交付金(予算 3,400 千円)

【計画】

募金活動に協力した団体や学校、企業による地域や学校の緑化を推進するため、集められた募金額の 40%を上限に、該当団体の申請に基づき緑化事業等交付金を交付する。

【実績】

募金活動に協力した団体や学校、企業による地域や学校の緑化を推進するため、集められた募金額の 40%を上限に、該当団体の申請に基づき緑化事業等交付金を交付した。

2023 年 2 月～11 月振込分まで 297 件 3,002,456 円 (参考：2022 年 2 月～11 月振込分まで 300 件 2,362,776 円)

(2) 堺第7ー3区「共生の森づくり」推進 (予算 270 千円)

【計画】

地球温暖化防止にかかる運動の一環として、堺第 7-3 区において市民・NPO 等の府民参加で実施されている「共生の森づくり」活動へ助成する。

【実績】

「第 19 回共生の森植樹祭」(2024 年 3 月開催予定) に対し助成予定。

(3) 生駒山系花屏風活動支援事業 (予算 808 千円)

【計画】

生駒山系を屏風に見立てて彩豊かな“花屏風”を作る「生駒山系花屏風活動支援事業」への助成を行う。同事業を推進する生駒山系森づくりサポート協議会の活動や主催行事に参加し、緑の募金の PR を行う。

【実績】

2008 年から継続している植樹活動への助成に加え、今年度から生き物の保全・育成、自然観察会や野外体験学習活動、森林保全等のボランティアを養成する活動等、生駒山系花屏風構想の普及啓発に資する行事に对象を拡大した。結果、今年度は 9 団体への助成が決定した。



ハイキングゴール地点での募金活動



里山体験活動 (シイタケの植菌)

(4) 緑の少年団活動支援事業(予算 1,050 千円)

【計画】

大阪府内の緑の少年団に対して活動助成を行うとともに、「子どもたちが緑や自然に触れ、森林や緑化に関する意識を高める」という目的に沿った連盟の運営・交流行事の開催が行われるよ

う、各団の自立を促しつつ大阪府緑の少年団連盟事務局として支援する。

【実績】

大阪府内の緑の少年団連盟事務局として総会（7/5）及び指導者情報交換（1/13）を実施した。今年度は4年ぶりの交流集会を大阪府少年自然の家（貝塚市）で開催し（10/14）、72名が参加した。また、連盟所属の4団に対して活動助成を行った。



総会



交流集会



（5）緑化推進運営協議会の運営（予算 31 千円）

【計画】

緑の募金の適切な運用を図るため有識者からなる緑化推進運営協議会を年2回以上開催する。

【実績】

第62回緑化推進運営協議会を5月23日に対面で開催した。

第63回を2月28日にオンラインで開催予定。

（6）募金・緑化功労者の表彰（予算 2 千円）

【計画】

募金額をもとに感謝状を贈呈する団体を（公社）国土緑化推進機構に推薦する。

「大阪府みどりの功労者表彰」等、各種の表彰主催団体からの案内をうけて推薦対象を選出し、推薦資料を作成・提出する。

【実績】

募金額による感謝状の贈呈はなかった。

「大阪府みどりの功労者」として当協会が推薦した「特定非営利活動法人島本森のクラブ」が表彰された。同表彰は、緑化の推進、自然環境の保全及び森林の保全に功績のあった個人または団体を表彰するもので、島本町において天然林の整備や放置竹林の整備などの活動と普及啓発への取り組みの功績が認められた。

「「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰」として当協会が推薦した「和泉葛城山ブナ愛樹クラブ」が表彰された。同表彰は、自然環境の保全に関して顕著な功績があった個人または団体を表彰するもので、国の天然記念物に指定されているブナ林の保全活動を23年間にわたり継続し、森林整備、調査活動、ブナの育成への功績が認められた。



「大阪府みどりの功労者」表彰式

(7) 国土緑化推進機構対応・中央交付金(予算 820 千円)

【計画】

(公社) 国土緑化推進機構に対して、中央交付金（広域的な森林整備や緑化の推進に活用される）として緑の募金の 2%相当額に 250 千円を加えた額を交付する。

【実績】

近畿地区で輪番制となっている（公社）国土緑化推進機構理事と全国緑化推進委員会連絡協議会副会長として、総会に出席した。

中央交付金は、2023 年 1 月から 12 月の募金額をもとに支出予定。

3. 森林環境教育・森林 ESD の推進(予算 2,253 千円)

(1) みどりづくりの輪活動支援事業(予算 630 千円)

【計画】

子どもたちによる生物多様性につながる自然環境保全活動、森林整備活動、校庭・園庭等の緑化やビオトープの整備等に助成する。また、これらの活動組立てや整備計画立案にあたり、専門家による助言を得られるよう、専門家の紹介や相談時の費用助成等の支援を行う。

【実績】

申請件数 7 件、採択 4 件



みどりづくりの輪活動支援事業の様子

また、学校が森林 ESD やビオトープ整備に関する計画立案に際し、専門家の助言が得られるように、専門家相談費用の助成を行った。

・助成件数 4 件、うち助成事業申請 4 件

(2) 「学校に森林と木の香りを」整備事業(予算 620 千円)

【計画】

子どもたちが国産木材の利用や緑の効用について理解を深めるため、教育施設の木質化や森林に関する学習の実施に対して助成する。

【実績】

申請件数 5 件、採択 3 件



「学校に森林と木の香りを」整備事業の様子

(3) 平和の緑づくり事業(予算 450 千円)

【計画】

大阪府内の平和堂店舗の有料レジ袋の収益金の一部からなる寄付を活用し、学校や幼稚園、保育園等で身近な緑づくり（植樹と「緑の教室」の開催）を推進する。

【実績】

申請 4 件、採択 3 件



植樹



緑の教室



(4) 森林環境教育・ESD 推進(予算 113 千円)

【計画】

（公社）国土緑化推進機構や関係団体とともに、森林 ESD の推進に向けた研究会・勉強会に参画する。また、森林環境教育・森林 ESD の普及啓発を目的としたパネル展を開催する。

【実績】

大阪府立中央図書館（東大阪市）にて、4/19～5/9 の期間中、令和 5 年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの大坂での入賞作品の展示とともに、「子どもたちにもっとみどりを～緑の募金を活用したみどりづくりや木の利用を進めるための活動支援紹介」パネル展示を行った。

また、近畿中国森林管理局「森林（もり）のギャラリー」（大阪市北区）にて 7/6～8/2 の期間中、同様の展示を行った。

(5) 教育大学学生向け講習の企画・運営(予算 250 千円)

【計画】

大阪教育大学、大阪府森林組合、大阪森林インストラクター会等と連携し、森林 ESD を体験する教育大学学生向け講習を実施する。

【実績】

大阪森林インストラクター会と連携し、大阪教育大学において、「図画工作」授業の時間を活用し、1回生の学生約 160 名を対象に「どこでもできる森林 ESD 体験講座」を実施した。また、大阪府森林組合南河内支店が南河内地域における水平展開を目的に河南町立かなん桜小学校で実施した「森林 ESD 体験授業」を支援した。



「どこでもできる森林 ESD 体験講座」の様子

(6) ポスターコンクールの実施(予算 190 千円)

【計画】

国土緑化運動を推進するためのポスター原画コンクールに参加し、優秀作品を選出し表彰する。

【実績】

(公社) 国土緑化推進機構が実施する「令和 6 年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」に、大阪府内からは、10 校／62 点 (参加総数 183 点 ※1 校につき応募は 10 点まで) の応募があった。10/3 の審査会にて優秀作品を選び推薦した。結果、中央審査会にて下記の 1 名が入賞した。大阪みどりのトラスト協会賞 13 名。



【小学校の部】入選
国土緑化推進機構理事長賞
箕面市立西南小学校
4 年 西尾 健成 さん
「見て！！僕の宝物」

4. 普及啓発事業(予算 314 千円)

(1) 会報誌・メールマガジンの発行(予算 130 千円)

【計画】

前年度の事業報告と当該年度の事業計画をわかりやすく編集した年次報告書形式の会報誌「アニュアルレポート」を年 1 回 7 月頃に発行する。イベント情報や保全活動地の様子、緑の募金の活用方法等をまとめたメールマガジンを、会員や関係する団体や個人に月 1 回のペースで定期的に配信する。

【実績】

会報誌「ANNUALREPORT2022 (みどりのトラスト)」を発行した (7 月)。メールマガジンは、月に 1 回、約 550 の団体や個人に定期配信し、最新の話題提供とホームページへの誘導を促した。

(2) ホームページ・SNS の運営(予算 78 千円)

【計画】

ホームページ、SNS (Facebook 及び Instagram) は会報誌やメールマガジンと連動させて、緑の募金のキャンペーン情報や助成事業についてタイムリーにお知らせする。また募金が活用された事業報告等を随時更新する。

【実績】

ホームページは、緑の募金のキャンペーン情報や助成事業についてタイムリーにお知らせした。また、募金がどのように活用されているか、実施事業の様子や実施後の担当者の声などを掲載した。SNS・メールマガジンと連動し、広く活用内容が伝わるよう発信した。

(3) 普及啓発イベントへの参加(予算 46 千円)

【計画】

緑の募金を活用して進める「生物多様性の保全」、「木材の利活用促進」、「森林 ESD の推進」等について理解を深めるため、府民を対象とした関連イベントへブースを出店し、パネル展示等を行い緑の募金への協力を呼びかける。

【実績】

「水都おおさか森林(もり)の市(10/23)」(大阪市北区)、「大阪自然史フェスティバル(11/19・20)」(大阪市東住吉区)にて募金活動・パネル展示等の PRを行った。

また、当協会が行うシンポジウム・観察会などのイベント時や、地域のイベント、企業の総会などへ参加し、緑の募金への協力を呼び掛けた。

- ・一般社団法人大阪損害保険代理業協会(5月)
- ・能勢てっぺんフェスタ(10/1)
- ・大丸心斎橋店(10/7~9)
- ・枚方市環境フェスタ(10/29)
- ・生駒花屏風ハイキング(11/11)
- ・ささゆり学園 SDGs フェスタ(11/17)など



損保大協総会 5月

(4) その他(予算 60 千円)

【計画】

編集ソフトの年間使用料。

【実績】

ホームページ、会報誌、チラシ等の作成・編集の内製化において編集ソフトを活用した。

5. 推進事業体制の整備(予算 6,650 千円)

【計画】

緑の募金事業推進に伴う事務所経費および人件費等、必要な事務的経費を支出する。

【実績】

事務所経費、人件費等を支出した。

令和5(2023)年度「緑の募金」収支見込

報告案件 ②

単位:千円

新科目	2022年度 決算額	2023年度 予算額	2023年度 決算見込み	予算対比 ②-①	2023見込 備考
I 収入の部					
1. 緑の募金収入	16,761	17,200	16,569	△ 631	
2. 助成金等収入(受取受託金)	0	0	50	50	
3. 運用財産利息収入	0	0	0	0	
4. 雜収入	48	0	52	52	
当期収入合計(A)	16,809	17,200	16,671	△ 529	
前期繰越収入差額(B)	△ 2,922	△ 2,977	△ 3,298	△ 321	
収入合計(C)=(A)+(B)	13,887	14,223	13,373	△ 850	
II 支出の部					
1. 緑の募金推進事業					
募金活動推進	2,625	2,853	2,955	102	資材整備他
募金拡大	4	6	6	0	
小計	2,629	2,859	2,961	102	
2. 緑化推進・森林の整備事業					
緑化事業等交付金	3,083	3,400	3,441	41	
堺第7-3区「共生の森づくり」推進	0	270	100	△ 170	使途指定募金額の減少
生駒山系花屏風活動支援事業	888	808	741	△ 67	
緑の少年団活動支援事業	605	1,050	819	△ 231	助成団体数の減少
緑化推進運営協議会の運営	35	31	21	△ 10	
募金・緑化功労者の表彰	6	2	4	2	
国土緑化推進機構対応・中央交付金	833	820	807	△ 13	
小計	5,450	6,381	5,933	△ 448	
3. 森林環境教育・森林ESD推進事業					
みどりづくりの輪活動支援事業	612	630	645	15	
「学校に森林と木の香りを」整備事業	467	620	623	3	
平和の緑づくり事業	770	450	519	69	
森林環境教育・ESD推進	46	113	49	△ 64	
教育大学学生向け講習の企画・運営	305	250	303	53	
ポスター・コンクールの実施	175	190	202	12	
小計	2,375	2,253	2,341	88	
4. 普及啓発事業					
会報誌・メールマガジンの発行	109	130	153	23	
ホームページ・SNSの運営	77	78	78	0	
普及啓発イベントへの参加	45	46	81	35	
その他	56	60	56	△ 4	PCソフトライセンス料等
小計	287	314	368	54	
5. 推進事務費	6,444	6,650	6,004	△ 646	
当期支出合計(D)	17,185	18,457	17,607	△ 850	
当期収支差額(A)-(D)	△ 376	△ 1,257	△ 936		
次期繰り越し収支差額(C)-(D)	△ 3,298	△ 4,234	△ 4,234		

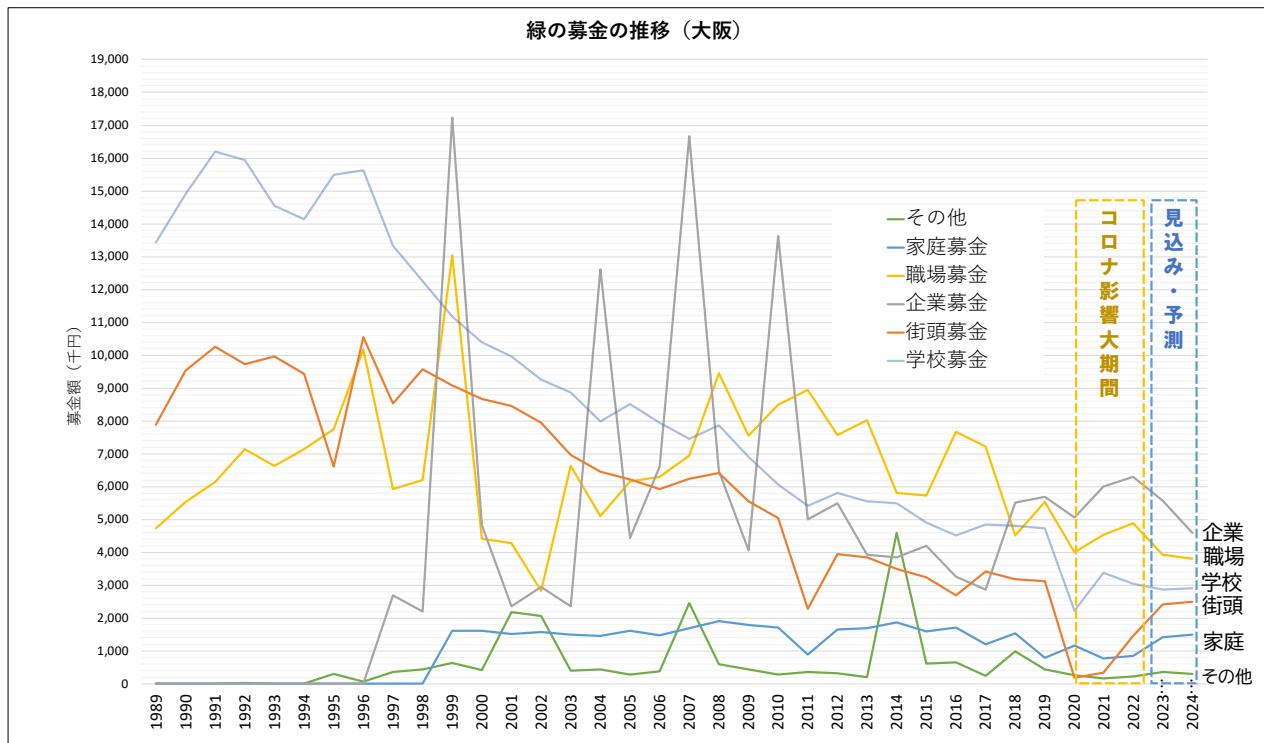
令和6(2024)年度「緑の募金」事業計画(案)

緑の募金収入の予測

1989年からの種別の緑の募金推移を下図に示す。

学校募金、職場募金、街頭募金は減少傾向にあり、近年はコロナ禍を背景に上下動がみられたが、今後大幅な増加は難しい。家庭募金は開拓の余地があるものの大幅な増加は見込めない。

上記の長期的な傾向、近年の状況、能登半島地震の影響などを踏まえ、2024年度の募金収入を前年比95%となる15,600千円と予測し、これをもとに事業を計画した。



コロナ前

コロナ影響大期間

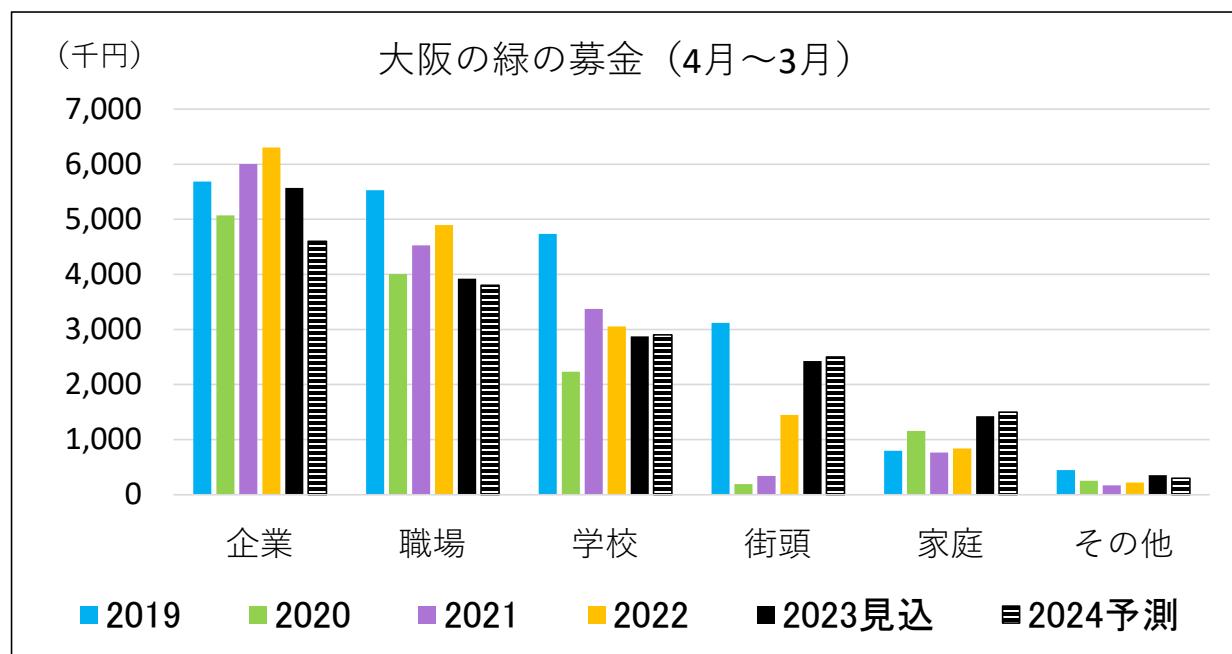
見込み・予測

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023見込	2024予測
企業	5,505	5,684	5,071	6,004	6,302	5,568	4,600
職場	4,524	5,530	4,007	4,528	4,895	3,923	3,800
学校	4,809	4,736	2,231	3,372	3,055	2,874	2,900
街頭	3,173	3,120	192	339	1,448	2,426	2,500
家庭	1,539	798	1,159	763	841	1,426	1,500
その他	985	448	254	168	221	352	300
合計	20,535	20,316	12,914	15,175	16,762	16,569	15,600

(千円)

2023年(見込み含む)の状況

企業募金は有料レジ袋の収益金の一部からなる寄付の減少(原料・加工費の高騰による)を反映して減少した。職場募金は近年回復傾向を示していたが今年度は減少した。ただし、職場募金の内訳を精査した結果、一部を家庭募金に種別変更した影響も含まれている。学校募金は減少傾向が続いている。街頭募金はコロナ前の2019年と比べて78%まで回復した。家庭募金は増加を示しているが、職場募金からの種別変更による。



種別	2024年の予測
企業	企業の環境貢献取組の高まりを見込み 20 万円の増加を予測するが、有料レジ袋の収益金の一部からなる寄付が 2023 年 140 万円から 2024 年 12.6 万円と約 120 万円減少するため、前年比 100 万円減少を予測する。
職場	前年比 10 万円の減少を予測する。
学校	減少傾向がみられるが、前年同様の推移を予測する。
街頭	2023 年にコロナ前に比べ 78%までの回復がみられたが、2024 年はコロナ前の 80%の回復を予測する。
家庭	増加要因が見込めず、前年同様の推移を予測する。
その他	増加要因が見込めず、前年同様の推移を予測する。

1. 緑の募金運動推進事業(予算 1,784 千円)

(1) 募金活動の推進(予算 1,778 千円)

2024 年度の募金目標額を 15,600 千円※とし、以下の団体へ協力依頼し、街頭募金、学校募金、家庭募金、職場募金、企業募金等の募金を呼びかける。

また、令和 6 年能登半島地震への復旧支援として(公社)国土緑化推進機構が提案する「中央交付金の活用」に協力し、春の募金額の 1%程度を復旧支援として収めるものとする。

さらに、街頭募金実施団体には、希望により街頭募金の一部(5%)を「復旧支援使途限定募金」にあてることができることを案内する。「復旧支援使途限定募金」は(公社)国土緑化推進機構が呼びかける募金活動であり、東日本大震災等の被災地域の避難所等における生活環境の改善に向けた様々な木製品の寄贈や緑化の支援等が行われている。

【災害復旧支援についての詳細は巻末資料参照】

〈これまでの災害復旧支援活用事例〉



避難所での木製品（組手仕）
の組立作業



被災地倒木の整理作業への支援



被災地の植樹活動への支援

種別	協力団体
街頭募金	日本ボーイスカウト大阪連盟、(一社)ガールスカウト大阪府連盟、大阪府緑の少年団連盟
学校募金	各市町村教育委員会、大阪私立中学校高等学校連合会 他
家庭募金	大阪府内 43 市町村
職場募金 企業募金等	大阪府、大阪府警察本部、近畿中国森林管理局、大阪商工会議所、大阪府木材連合会、大阪商工信用金庫、大阪府生活協同組合連合会、大阪いずみ市民生活協同組合、ダイドードリンコ(株) 他

募金キャンペーン期間を設け、各団体による街頭募金を集中的に実施するとともに、府内各地で行われる各市町村や各種団体等の緑化関連イベント等で緑の募金活動を強化し、周知を図る。

〈キャンペーン期間〉 ・春季 2024 年 3 月 1 日～5 月 31 日

・秋季 2024 年 9 月 1 日～10 月 31 日

〈募金資材の整備〉

緑の募金運動および普及啓発の円滑な推進を図るため、2024 年秋用および 2025 年春用の募金資材を整備し活用する。

ただし募金収入の減少予測と、資材の価格高騰を受けて、例年春と秋に製作しているオリジナルのピンバッジは、2024年秋用の1回とし、2025年春用については製作を取り止め、過去のバッジの活用を協力団体にお願いする。また、資材配布時の配送料高騰を受け対策を検討する。

(2) 募金拡大(予算 6千円)

近年、企業からの問い合わせや寄付企画の申し込みが増えつつあり、各企業のニーズに合わせた積極的な対応を行い、協力企業の拡大に努める。

また、現在、家庭募金は募金総額の約9%にとどまっているため、家庭募金を行っている市や、他府県の事例を参考にして取り組み方法を検討し、大阪府の協力も得ながら市町村への協力依頼を進める。

WEBから募金ができる「つながる募金」や家庭に眠る物品の寄付(お宝エイド)物品寄付や遺贈による寄付等、募金方法の多様化に向けた仕組みづくりに取り組み、ホームページやイベント等で周知し、普及啓発を図る。状況に応じてキャッシュレス募金に取り組む。

2. 緑化推進・森林の整備事業(予算 6,217千円)

(1) 緑化事業等交付金(予算 3,390千円)

募金活動に協力した団体や学校、企業による地域や学校の緑化を推進するため、集められた募金額の40%を上限に、該当団体の申請に基づき緑化事業等交付金を交付する。

(2) 堺第7-3区「共生の森づくり」の推進(予算 101千円)

地球温暖化防止にかかる運動の一環として、堺第7-3区における市民・NPO等の府民参加で実施されている「共生の森づくり」活動へ助成する。

(3) 生駒山系花屏風活動支援事業(予算 943千円)

生駒山系を屏風に見立てて彩豊かな“花屏風”を作る「生駒山系花屏風活動支援事業」への助成を行う。同事業を推進する生駒山系森づくりサポート協議会の活動や主催行事に参加し、緑の募金のPRを行う。

(4) 緑の少年団活動支援事業(予算 1,000千円)

大阪府内の緑の少年団に対して活動助成を行うとともに、「子どもたちが緑や自然に触れ、森林や緑化に関する意識を高める」という目的に沿った連盟の運営・交流行事の開催が行われるよう、各団の自立を促しつつ大阪府緑の少年団連盟事務局として支援する。

(5) 緑化推進運営協議会の運営(予算 17千円)

緑の募金の適切な運用を図るため有識者からなる緑化推進運営協議会を年2回以上開催する。

(6) 募金・緑化功労者の表彰(予算 4千円)

募金額をもとに感謝状を贈呈する団体を(公社)国土緑化推進機構に推薦する。

「大阪府みどりの功労者表彰」等、各種の表彰主催団体からの案内をうけて推薦対象を選び、推薦資料を作成・提出する。

(7) 国土緑化推進機構対応・中央交付金(予算 762千円)

(公社)国土緑化推進機構に対して、中央交付金(広域的な森林整備や緑化の推進に活用される)として緑の募金の2%相当額に250千円を加えた額を交付する。

3. 森林環境教育・森林 ESD の推進(予算 1,974 千円)

(1) みどりづくりの輪活動支援事業(予算 685 千円)

2023 年度まで、みどりづくりの輪活動支援事業（以下、「みどりづくり」）と『学校に森林と木の香りを』整備事業（以下、「学校に森林」）の 2 種類の助成事業を実施してきたが、以下に示す経緯から一元化する。また、申請段階における活動組立てや整備計画立案にあたり、専門家による助言を得られるよう、専門家の紹介や相談時の費用助成を継続する。

<助成事業一元化の経緯>

「みどりづくり」については、設置当初の目的は市民団体による森林整備や緑化活動への支援であったが、2018 年度より支援対象を子どもの参加による活動に狭め、「子どもの参加」「学びの機会」という点に審査の重点を置いている。特に、ここ数年は学校ビオトープの整備活動への支援が増えている。

一方、「学校に森林」については、設置当初は教育施設の木質化等の施設整備への支援を目的としたが、ここ数年は、森林 ESD 等の学習への支援が増えている。助成上限 20 万円については、施設整備費としては少額であるが、木工体験や学習への助成額としては多額であり、「学校に森林」を終了して「みどりづくり」に一元化するものとした。

(2) みどりの一歩事業(予算 911 千円)

幼稚園、保育園、こども園等で身近なみどりづくり（植樹）と環境教育（「みどりの教室」の開催）を行う事業を行う。2023 年度まで、有料レジ袋の収益金の一部からなる寄付を原資とし、

「平和の緑づくり事業」を実施してきたが、2024 年度以降の寄付状況の変更を受け、同名の事業を終了するため、内容を引き継ぐ事業として計画した。

ただし募金収入予測から財源の確保が難しいため、(公社)国土緑化推進機構による緑の募金助成に採択された場合に実施するものとする。

(3) 森林環境教育・森林 ESD の推進(予算 83 千円)

大阪府立中央図書館・林野庁近畿中国森林管理局等と連携し、森林環境教育・森林 ESD の普及啓発を目的としたパネル展等を実施する。

(4) 教育大学学生向け講習の企画・運営(予算 70 千円)

大阪教育大学、大阪府森林組合、大阪森林インストラクター会等と連携し、森林 ESD を体験する教育大学学生向け講習を実施する。

(5) ポスターコンクールの実施(予算 225 千円)

国土緑化運動を推進するためのポスター原画コンクールに参加し、優秀作品を選出し表彰する。

4. 普及啓発事業(予算 355 千円)

(1) 会報誌・メールマガジンの発行(予算 141 千円)

前年度の事業報告と当該年度の事業計画をわかりやすく編集した年次報告書形式の会報誌「アニュアルレポート」を年 1 回 7 月頃に発行する。イベント情報や保全活動地の様子、緑の募金の活用方法等をまとめたメールマガジンを、会員や関係する団体や個人に月 1 回のペースで定期的に配信する。

(2) ホームページ・SNS の運営(予算 80 千円)

ホームページ、SNS (Facebook 及び Instagram) は会報誌やメールマガジンと連動させて、緑

の募金のキャンペーン情報や助成事業についてタイムリーにお知らせする。また募金が活用された事業報告等を随時更新する。

(3) 普及啓発イベントへの参加(予算 77 千円)

緑の募金を活用して進める「生物多様性の保全」、「木材の利活用促進」、「森林 ESD の推進」等について理解を深めるため、府民を対象とした関連イベントへブースを出店し、パネル展示等を行い緑の募金への協力を呼びかける。

(4) その他(予算 57 千円)

編集ソフトの年間使用料。

5. 推進事業体制の整備(予算 6,181 千円)

緑の募金事業推進に伴う事務所経費および人件費等、必要な事務的経費を支出する。

第2号議案

令和6(2024)年度「緑の募金」收支予算(案)

単位:千円

新科目	2023年度 予算額	2023年度 決算見込み	2024年度 予算額	前年度 予算対比 (③)-(①)	2024予算 備考
I 収入の部					
1. 緑の募金収入	17,200	16,569	15,600	△ 1,600	
2. 助成金等収入(受取受託金)	0	50	0	0	
3. 運用財産利息収入	0	0	0	0	
4. 民間補助金	0	0	911	911	
5. 雜収入	0	52	0	0	
当期収入合計(A)	17,200	16,671	16,511	△ 689	
前期繰越収入差額(B)	△ 2,977	△ 3,298	△ 4,234	△ 1,257	
収入合計(C)=(A)+(B)	14,223	13,373	12,277	△ 1,946	
II 支出の部					
1. 緑の募金推進事業					
募金活動推進	2,853	2,955	1,778	△ 1,075	資材整備他。募金収入に相応
募金拡大	6	6	6	0	
小計	2,859	2,961	1,784	△ 1,075	
2. 緑化推進・森林の整備事業					
緑化事業等交付金	3,400	3,441	3,390	△ 10	募金額の約22%
堺第7-3区「共生の森づくり」推進	270	100	101	△ 169	前年の実績を参照
生駒山系花屏風活動支援事業	808	741	943	135	使途指定募金額に相応
緑の少年団活動支援事業	1,050	819	1,000	△ 50	
緑化推進運営協議会の運営	31	21	17	△ 14	2回開催
募金・緑化功労者の表彰	2	4	4	2	
国土緑化推進機構対応・中央交付金	820	807	762	△ 58	中央交付金は募金収入に相応
小計	6,381	5,933	6,217	△ 164	
3. 森林環境教育・森林ESD推進事業					
みどりづくりの輪活動支援事業	630	645	685	55	専門家の紹介や相談時の費用助成を継続5件を予定
「学校に森林と木の香りを」整備事業	620	623	0	△ 620	「みどりづくりの輪」に統合
みどりの一歩事業(平和の緑づくり事業)	450	519	911	461	4園
森林環境教育・ESD推進	113	49	83	△ 30	
教育大学学生向け講習の企画・運営	250	303	70	△ 180	
ポスター・コンクールの実施	190	202	225	35	
小計	2,253	2,341	1,974	△ 279	
4. 普及啓発事業					
会報誌・メールマガジンの発行	130	153	141	11	
ホームページ・SNSの運営	78	78	80	2	
普及啓発イベントへの参加	46	81	77	31	
その他	60	56	57	△ 3	PCソフトライセンス料等
小計	314	368	355	41	
5. 推進事務費	6,650	6,004	6,181	△ 469	
当期支出合計(D)	18,457	17,607	16,511	△ 1,946	
当期収支差額(A)-(D)	△ 1,257	△ 936	0		
次期繰り越し収支差額(C)-(D)	△ 4,234	△ 4,234	△ 4,234		

貸 借 対 照 表

(2023年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	6,640,104	14,240,364	△ 7,600,260
未収金	3,780,341	1,740,790	2,039,551
立替金	3,638,837	14,107	3,624,730
前払金	381,368	342,005	39,363
流動資産合計	14,440,650	16,337,266	△ 1,896,616
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,310,418	3,310,418	0
普通預金	10,000	10,000	0
投資有価証券	244,958,000	252,758,000	△ 7,800,000
基本財産合計	248,278,418	256,078,418	△ 7,800,000
(2) 特定資産			
トラストファンド			
普通預金	869,567	678,086	191,481
投資有価証券	22,762,520	23,452,220	△ 689,700
トラストファンド合計	23,632,087	24,130,306	△ 498,219
特定費用準備資金			
地黄湿地保全事業準備資金			
普通預金	2,762,617	4,282,958	△ 1,520,341
大阪里山ネットワーク運営準備資金			
普通預金	3,759,381	3,844,381	△ 85,000
特定費用準備資金合計	6,521,998	8,127,339	△ 1,605,341
特定資産合計	30,154,085	32,257,645	△ 2,103,560
(3) その他固定資産			
備品	218,096	360,003	△ 141,907
車両	1	1	0
長期前払費用	8,830	8,830	0
立木	1,023,000	1,023,000	0
その他固定資産合計	1,249,927	1,391,834	△ 141,907
固定資産合計	279,682,430	289,727,897	△ 10,045,467
資産合計	294,123,080	306,065,163	△ 11,942,083
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	7,299,900	7,305,802	△ 5,902
前受金	599,000	387,000	212,000
預り金	39,822	984,052	△ 944,230
預り補助金	0	4,064,600	△ 4,064,600
流動負債合計	7,938,722	12,741,454	△ 4,802,732
負債合計	7,938,722	12,741,454	△ 4,802,732
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
大阪府出捐金	100,000,000	100,000,000	0
寄附金	126,341,618	126,341,618	0
有価証券評価差額	21,936,800	29,736,800	△ 7,800,000
基本財産合計	248,278,418	256,078,418	△ 7,800,000
ブナの森トラストファンド	15,104,716	15,450,644	△ 345,928
ゼフィルスの森トラストファンド	8,527,371	8,679,662	△ 152,291
トラストファンド合計	23,632,087	24,130,306	△ 498,219
指定正味財産合計	271,910,505	280,208,724	△ 8,298,219
(うち基本財産への充当額)	(248,278,418)	(256,078,418)	△ 7,800,000
(うちトラストファンドへの充当額)	(23,632,087)	(24,130,306)	△ 498,219
(うち特定費用準備資金への充当額)	(0)	(0)	0
2 一般正味財産	14,273,853	13,114,985	1,158,868
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うちトラストファンドへの充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定費用準備資金への充当額)	(6,521,998)	(8,127,339)	△ 1,605,341
正味財産合計	286,184,358	293,323,709	△ 7,139,351
負債及び正味財産合計	294,123,080	306,065,163	△ 11,942,083

正味財産増減計算書内訳表

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合計
	公 1 自然環境保全事業	公 2 緑の募金事業	共 通	小 計		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	0	0	3,500,064	3,500,064
基本財産受取利息	0	0	0	0	3,500,064	3,500,064
特定資産運用益	48,400	0	0	48,400	0	48,400
特定資産受取利息	48,400	0	0	48,400	0	48,400
受取金費	2,304,000	0	0	2,304,000	0	2,304,000
会員受取会費	2,304,000	0	0	2,304,000	0	2,304,000
受取補助金等	24,804,291	0	0	24,804,291	0	24,804,291
受取国庫補助金	7,584,491	0	0	7,584,491	0	7,584,491
受取地方公共団体補助金	11,119,000	0	0	11,119,000	0	11,119,000
受取民間補助金	4,200,000	0	0	4,200,000	0	4,200,000
受取受託金	1,900,800	0	0	1,900,800	0	1,900,800
受取負担金	669,850	0	0	669,850	0	669,850
受取負担金	669,850	0	0	669,850	0	669,850
受取寄付金	1,899,709	16,761,050	0	18,660,759	0	18,660,759
受取寄付金	1,899,709	0	0	1,899,709	0	1,899,709
募金収益	0	16,761,050	0	16,761,050	0	16,761,050
雑収益	237,728	48,062	0	285,790	115	285,905
受取利息	0	11	0	11	115	126
雑収益	237,728	48,051	0	285,779	0	285,779
経常収益計	29,963,978	16,809,112	0	46,773,090	3,500,179	50,273,269
(2) 経常費用						
事業費	28,661,681	17,185,306	0	45,846,987		45,846,987
役員報酬	806,400	691,200	0	1,497,600		1,497,600
給料手当	10,009,209	3,981,701	0	13,990,910		13,990,910
福利厚生費	1,415,243	718,928	0	2,134,171		2,134,171
旅費交通費	1,493,606	194,169	0	1,687,775		1,687,775
通信運搬費	434,108	563,309	0	997,417		997,417
減価償却費	121,352	0	0	121,352		121,352
消耗品費	1,241,863	2,303,896	0	3,545,759		3,545,759
印刷製本費	81,660	164,180	0	245,840		245,840
燃料費	156,784	23,641	0	180,425		180,425
賃借料	3,353,988	849,576	0	4,203,564		4,203,564
保険料	588,408	8,287	0	596,695		596,695
使用料	395,936	65,434	0	461,370		461,370
委託費	5,628,346	795,428	0	6,423,774		6,423,774
募金事務費	0	156,679	0	156,679		156,679
諸謝金	1,120,911	175,000	0	1,295,911		1,295,911
支払負担金	1,350,185	180,071	0	1,530,256		1,530,256
支払助成金	203,000	2,502,193	0	2,705,193		2,705,193
支払手数料	229,656	142,931	0	372,587		372,587
緑化事業等交付金	0	3,667,883	0	3,667,883		3,667,883
光熱水費	7,026	0	0	7,026		7,026
租税公課	24,000	800	0	24,800		24,800
管理費					3,267,414	3,267,414
役員報酬					906,400	906,400
給料手当					625,170	625,170
福利厚生費					268,359	268,359
旅費交通費					10,250	10,250
通信運搬費					82,368	82,368
減価償却費					20,555	20,555
消耗品費					122,213	122,213
印刷製本費					41,580	41,580
賃借料					277,692	277,692
保険料					44,000	44,000
使用料					520,190	520,190
委託費					132,000	132,000
支払負担金					85,011	85,011
支払手数料					131,626	131,626
経常費用計	28,661,681	17,185,306	0	45,846,987	3,267,414	49,114,401
評価損益等調整前当期経常増減額	1,302,297	▲ 376,194	0	926,103	232,765	1,158,868
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	1,302,297	▲ 376,194	0	926,103	232,765	1,158,868
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	1,302,297	▲ 376,194	0	926,103	232,765	1,158,868
他会計振替額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,302,297	▲ 376,194	0	926,103	232,765	1,158,868
一般正味財産期首残高	16,756,665	▲ 2,921,857	0	13,834,808	▲ 719,823	13,114,985
一般正味財産期末残高	18,058,962	▲ 3,298,051	0	14,760,911	▲ 487,058	14,273,853
II 指定正味財産増減の部						
受取寄付金	191,481	0	0	191,481	0	191,481
基本財産評価損益	0	0	0	0	▲ 7,800,000	▲ 7,800,000
特定資産評価損益	▲ 689,700	0	0	▲ 689,700	0	▲ 689,700
当期指定正味財産増減額	▲ 498,219	0	0	▲ 498,219	▲ 7,800,000	▲ 8,298,219
指定正味財産期首残高	24,130,306	0	0	24,130,306	256,078,418	280,208,724
指定正味財産期末残高	23,632,087	0	0	23,632,087	248,278,418	271,910,505
III 正味財産期末残高	41,691,049	▲ 3,298,051	0	38,392,998	247,791,360	286,184,358

災害復旧支援に関する資料①
「中央交付金の活用」について

令和6年2月5日

各都道府県緑化推進委員会 事務局 緑の募金ご担当 様

国土緑化推進機構 募金部

令和6年能登半島地震被災地復旧支援への中央交付金の活用について（案）

令和6年能登半島地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

国土緑化推進機構では、「復旧支援使途限定募金（地震被害）」へのご寄附を活用して、能登半島地震被災地復旧支援事業（直接事業）により、関係県の緑化推進委員会や森林ボランティア団体等の実施する被災地における復旧支援活動を助成することとしております。

さらに、ご協力が得られる都道府県緑化推進委員会について、今春の募金に係る中央交付金の中から、一部を上記事業の財源として活用させていただければ、事業の一層の推進が可能となるものと考えます。

具体的には、別紙の方向で検討しているところです。

なお、各都道府県緑化推進委員会におかれても、緑の募金による被災地復旧支援をご検討のことと思います。関係県以外でも「緑の募金法第18条第2項ただし書き」及び「緑の募金法施行規則第7条」の規定に基づき、募金事業により直接支援することも可能かと思いますが、中央交付金の活用も間接的ですが一つの形態かと考えるところです。

以上につきまして、ご意見等ございましたら、ご連絡下さいますようお願いします。

（担当：瀬戸、箕輪）

(別紙)

令和6年能登半島地震被災地復旧支援への中央交付金の活用の流れ（案）

- ① ご協力いただける都道府県緑化推進委員会には、令和6年中央交付金（春の募金分）のうち、復旧支援事業への活用可能額を、秋の募金前をめどに収めていただきます。（事前に、ご協力の可否とご協力いただける場合の活用可能額等を照会いたします。）
- ② ①の活用可能額は、「春の募金額×0.02」（中央交付金の変動分）の1/2を上限とします。
- ③ ①の活用可能額は復旧支援事業に活用させていただきますが、使途限定募金と別に管理します。
- ④ 中央交付金全体については、例年どおりに協議等を進め、①の活用可能額を収めていたいた場合には、その分を差し引き清算いたします。
- ⑤ なお、現時点では、交付金の算定方法の変更は予定していません。また、全緑化推進委員会一律に協力を求めるることは考えておりません。

災害復旧支援に関する資料②
「復旧支援使途限定募金」について

【緑の募金の災害復旧支援について】

緑の募金の中央団体である「公益社団法人国土緑化推進機構」では、被災地支援に使途を限定した「復旧支援使途限定募金（気象被害や地震災害）」への協力を呼び掛け、集まった緑の募金を活用し、これまでにも被災地域において下記の支援を行っています。

- 避難所や仮設住宅団地・学校・保育所等への木製品の提供
- 仮設住宅団地や学校・保育所周辺における緑化活動等の支援
- 被災地倒木の整理作業や植樹活動への支援 など

〈これまでの災害復旧支援活用事例〉



避難所での木製品（組手什）
の組立作業



被災地倒木の整理作業への支援



被災地の植樹活動への支援

★「令和6年能登半島地震」についても、同様に地震災害被災地の復旧・復興に向け、被災地の要望に添った支援を実施することとしています。



組手什（くでじゅう／組み立て什器）



災害派遣職員・災害ボランティア・避難者の皆さんと一緒に組立て。靴箱や支援物資の整理棚等、多様な用途に活用されています。

（引用：国土緑化推進機構ホームページより）



【緑の募金 街頭募金実施にあたって Q&A】

Q1. 大阪で緑の募金をしたら「令和6年能登半島地震」の復旧支援で活用されますか。

→ A1. 一部が活用されます。

通常、緑の募金として大阪で集められた募金は、主に大阪での緑化活動などに活用され、一部が国土緑化推進機構を通じて全国的な活動に使用されています。

今回、大阪で集まった募金の一部（募金額の1%程度）が、国土緑化推進機構を通じて復旧支援に使われます。

Q2. 今回、街頭募金で集めた募金から更に、被災地支援に使途を限定した「復旧支援使途限定募金」にできますか。

→ A2. 各団の希望により、2024春のキャンペーン期間の街頭募金の一部（5%）を「復旧支援使途限定募金」にすることができます。

振込用紙（ゆうちょ銀行）の通信欄の「一部を復旧支援使途限定募金（地震被害）にすることを希望する」にチェックを入れてください。

大阪みどりのトラスト協会から国土緑化推進機構へまとめて送金します。（8月を予定）

※5%にあたる募金は「緑の募金による緑化推進事業等交付金（募金額の40%）」の対象にはなりません。（交付金は、募金額から5%を差し引いた額の40%となります。）

Q3. 全額を、被災地支援に使途を限定した「復旧支援使途限定募金」にできますか。

→ A3. できません。

ピンバッジや羽根やタスキなどの資材は、主に「大阪のみどりが豊かになるよう」と呼びかけ、皆さまからご協力いただいた募金を使って大阪で購入しているため、全額を「復旧支援使途限定募金」にすることはできません。

【緑の募金 街頭募金実施にあたってのお願い】

- 「緑の募金」と同時に「能登半島地震災害支援金（緑の募金ではないもの）」の呼びかけを予定されている場合は、タスキや募金箱の混同などがないよう、また距離を取るなどし、視・聴覚的にも協力者に誤解を与えないようご配慮ください。

2024春のキャンペーン期間中（2024年3~5月）の緑の募金の一部（5%）を
「復旧支援使途限定募金（地震被害）」として活用することを希望する場合

《街頭での呼びかけについて》

（呼びかけ例）

- 「緑の募金にご協力をお願いします。緑の募金は、森林やみどりを豊かにするために使われます。今回集めた募金の一部が、地震被災地への木製品の提供や緑化支援などにも使われます。」
- 「緑の募金は、身近なみどりを増やす活動や、学校や園でのみどりづくりや木の利用を進める活動を支援するため使われます。また、今回集めた募金の一部は、地震被災地での活動に使用されます。」

（注意点）

- ※ 必ず「緑の募金」であることを呼びかけてください。ご協力者に対して“震災復興支援金である”という誤解を与えないようご配慮ください。
- ※ 使途などを解説した写真入りのPOPの用意を用意しました。緑の募金ポスターなどと合わせて活用ください。

《募金の振込み》

- ※ 下記の専用振込用紙をご使用の上、ゆうちょ銀行の窓口にて振込みください。
- ※ 振込用紙（ゆうちょ銀行）の通信欄の「一部を復旧支援使途限定募金（地震被害）にすることを希望する」にチェック \square を入れてください。

払込取扱票													
00		口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。											
口座記号		口座番号（右詰めで記入）		金額	千	百	十	万	千	百	十	円	
* 0 0 9 6 0 6		* 2 1 3 3 3 1						0	0	0	0	0	
加入者名		料金		備考	免除								
各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。		【緑の募金】		窓口で「手数料免除口座」とお伝えください。振込手数料と現金利用に伴う加算料金、硬貨取扱料金が免除されます。									
通信欄		募金総額	00,000 円	※1 募金運動の経費は、募金総額の10%まで									
ご依頼人		募金経費 ※1	0,000 円	※2 振込金額 = 募金総額 - 募金経費									
おとこころ		振込金額 ※2	00,000 円	□一部を復旧支援使途限定募金（地震被害）にすることを希望する									
おなまえ		000 0000		日	附印								
おなまえ		大阪府〇〇市〇〇〇〇1-2-3		附	印								
おなまえ		□□□スカウト〇〇〇団		日	附印								
おなまえ		団長 〇〇 □□ (ご連絡先電話番号 000 - 000 - 0000)		附	印								
おなまえ		ご依頼人欄に、おとこころ・おなまえをご記入ください。 これより下部には何も記入しないでください。		料金	(消費税込み) 日附印 円								
おなまえ				備考	免除								

振替払込請求書兼受領証

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この申請書は、大切に保管してください。